

出張出前はいつものこと、話を聞きたがる皆さんのもとへ馳せ参じます。小学生が英語を学ぶ時代、洗練された久留米弁を使いこなすのも現在では稀有のこと、古老に教えを乞うて練習、その努力の成果でもありチームは立派なちっこ弁が使える人材となりました。

昔ん話を語る会

嘶

大好評の 12 昔話
HP のデジタルアーカイブより
「久留米ん昔話」をご覧下さい。

★宮の木長者
★太る石
★河童の手
★河童の亀たん
★力士と河童
★祇園寺
★牟田山左衛門狐
★河童の祟り
★幽霊蚊帳
★三上薬師
★狐の怪
★正覚寺の菊花紋



ボランティア合同説明会

12/13(社) 県雇用対策協会事業 (於商工会議所)

『70 歳現役応援』しごと・ボランティア説明会が開催され、SNK もブースを設け会員の活動を紹介、元気で現役を生きる高齢者の生きがい創造を提案した。写真は来訪者と面談中の右:小島理事長と島井会員

お知らせ

リーフレット作成

A-4 三折 3000 部作成 (交流部)

特定非営利活動法人 シニアネット久留米



久留米市の景観で行進するシニアネット久留米のメンバー

シニアネット久留米とは？

インターネットを通じ、シニアの生きがい作りや仲間作りを支援することにより、シニアの豊かな生活、健全な街づくり、子供たちの健全育成、国際交流等を推進し、もって住みやすい社会環境づくりに寄与することを目的とし、下記の活動を行っている民間団体です。

- 1.シニアのためのパソコン教室及び相談室の開催
- 2.パソコン指導のシニア・インストラクターの養成
- 3.パソコンを通じての子供たちとの交流
- 4.市民対象のパソコン教室の開催
- 5.シニアが核となつて行うサークル活動及びイベントの企画、運営、支援
- 6.全国及び世界のシニアネットとの交流、連絡、協働
- 7.本会の事業に必要な機関紙の発行、ホームページの開設、メンバー間の情報交換を行うためのメーリングリストなどの運営



SNK

編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

新年のご挨拶

理事長 小島紀夫



明けましておめでとうございます。

皆様にはお揃いで良いお年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年中はSNKに対しまして、一方ならぬご協力、ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。昨年度は国内外ともに政治の混乱、経済の減速、秋から年末にかけては米大統領選挙、中国最高指導者の交代、日本の衆議院総選挙、韓国大統領選挙と主要国の改選交代があり今後世界が大きく変わる可能性があります、少しでも良い方向に変わるよう祈念します。

一方SNKは会員皆さんのお蔭でその基本理念「シニアの生き甲斐づくり仲間づくり」に向かって着実に活動がなされました。春秋の荒木農園（癒しの森公園）収穫祭では、子育て中の若い両親と子供たち、高齢者の皆さんと学生たちとの交流、8 回を重ねる「久留米ん町探検隊」の筑後地区の古代のロマンや歴史、久留米の良さの再発見、芋煮会等のうまかもん、チッゴアミーゴス、英語で歌う会、各種パソコン教室、大いに盛り上がったオフ会、灯籠流し、教育支援やサザエさん一家による慰問等のボランティア活動等々大変活発に活動がなされました。

平成 25 年度も昨秋のオフ会のテーマの如く「明るく、元気で、皆満足!」のSNKを目指して皆様の一層のご協力をお願い致します。

最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈り致しまして新年のご挨拶と致します。



晴れた日、愛用の PC をオフにして集まったみなさん。多芸多才は日頃の努力の成果です。才能が弾けて話題も盛り上がりました。



(あとがき)日本人の起源は縄文人と弥生人の混血による DNA 解析の報告がある。新しい年が来る。おらが村の嘶や祭を掘りかえしていると卑弥呼の時代が見えてきた。(弐)

特集 シニア世代は子どもたちを見守る・・・(4) 未来の大人たちへ 囃

第8回久留米ん町探検隊 隊長 高木保幸



「昔ん話」を語るうちに、此の物語にある場所は伝承・民話の由緒は、今どうなっているじゃろうか？、さるいて（巡って）見よう、さぐって（探して）見よう！百聞は一見に如かず云う事から「久留米ん町探検隊」が誕生、健康増進も兼ねたウォーキングと共に、日頃は目に留めなかった処で見聞した知識は心の財産です。

- SNKの皆さんの後押しもあり、今回の大善寺・三瀧地区で第8回を数えました、「久留米ん町探検隊」はさるきました。
- ・弓頭神社は歴史を感じる古さでした。その前に展示してある、大川鉄道のポッポ汽車の歴史も知りました。
 - ・烏帽子塚古墳跡は前方後円墳で全長 258mと云われるが？今は平地になり想像もつかない！
 - ・塚崎貝塚は、先人のグルメ達が残した牡蠣の貝殻がドッサリ。ここら辺りまで海が入っていたのかな？
 - ・朝日寺ではマドンナのご詠歌を聞き、開基神子禅師栄尊出生譚は、朝日を飲み込んでの懷妊でお寺の名前の由来も。
 - ・大善寺玉垂宮では、宮司さんから境内に残る傘橋の説明を聞く。鬼夜の松明を作る苦労話や、宮の地所が狭く減った話を聞いた。



第8回久留米ん町探検隊、行程をほぼ終えて玉垂宮の楼門前で記念写真↑



食肉製造販売

岩田屋フード株式会社

食肉販売業 食肉製品製造業 食肉処理業

830-0013 福岡県久留米市櫛原町 121-4
Tel.0942-34-4129 Fax 0942-34-4096

BO2TRIO Guitar 小川健一 Bass 清水龍典 Vocal 谷 真由美

久留米市通町 109-2 Tel.0942-38-3751

温故知新ライブ



筑後平野の稲田の奥を見ながら、大善寺駅前集合～弓頭神社～烏帽子塚古墳～塚崎貝塚（月読神社）～朝日寺～大善寺玉垂宮。稲の刈り取り真際中の田園風景を眺めながら、探検隊は行く。日頃は目に留めない処を探り、古い話や由緒を訪ね昔を偲んだ1日。

からかさ 傘 橋

大善寺玉垂宮前に流れる川に架かる橋の名前は「から傘橋」(↑現在の広川に架かる橋交差点の名は「傘橋 からかさ」となっている。「大善寺玉垂宮 1900 年御神期大祭記念誌」表紙裏に書かれた絵→

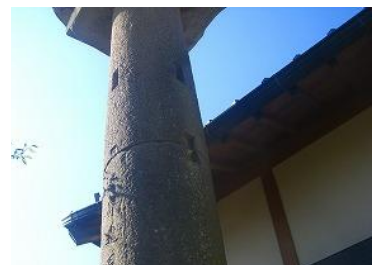


「傘橋 からかさばし」は建造後、天下の名橋「拔河曳橋（ばっかのひきはし）」として歴史に残りました。図をよく見ると判りますが、上部橋受けでは7本の支持材が斜め上に上がり、川を横断する太鼓型の橋を受ける構造であった。大善寺玉垂宮の前を流れる川の旧名は「あられ川」と呼び、現在では「広川」の名前となります。この川が大雨で洪水の心配があるとき、上部太鼓型の橋をはずして、陸地に引き上げて水位が下がるのを待った。から傘の「から」は川が空のとき橋を使ったので、川が空の意味である。傘橋記念塔の基礎は橋創建時のもの。一間四方の大きさに印鑰（いんにやく）神社（今の夜明神社）に有った乙名塚の碑石といわれている。…以下省略

直径80cmほどの円柱の石材を縦に3本つなぐと高さ約5mの石柱となる。建造時の天明元年（1781）の文字が見える。



頭頂部分の傘



柱上部分の横差込穴 20×20 cm



3本継いだ石柱、高さ5m



礎石部分の横差込穴 15×10 cm

大善寺玉垂宮に保存された傘橋礎石
↑上から順に傘、柱、礎石、横差込穴

「コスモスと 古代を偲ぶ 秋の道」

途中折々見えるコスモスは、日射があれば黄金色の実った稲、刈穂に映えてカラフルでした。探検隊で私が調べたこと、すごいと驚いたこと、面白かったこと。大善寺玉垂宮の宮司さんから聞いた『から傘橋』の話にはたまげました。なんてたってこんなに驚いたことはない。昔々、鬼夜の鬼が退治された伝説のあるお宮です。筑後平野の真ん中あたりだから、こんな大事な話が探せばどんどん出てくるんですね。

会員 川浪統（古田史学の会）